

テレビドアホンへの取り替え上のご注意

下記注意事項をよくお読みのうえ、機器の取り替えを行なってください。

配線上の注意事項

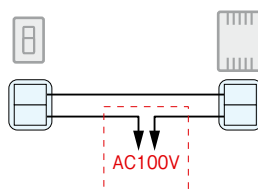
- 配線ケーブルはポリエチレン絶縁ビニール被覆のケーブルを使用すること(日本電線工業会規格(JCS4396)の適合品)。同軸ケーブル、2PrカドVうち線、3芯など奇数のケーブルは使用不可。
- インターホン系のケーブルと電気錠系のケーブルは別ケーブルとし、それぞれ10cm以上離して配線すること。(玄関子機からの呼出ができなくなる。)
- 配線ケーブルは強電線(AC100V、200V)とは30cm以上離して配線すること。ノイズや誤動作の発生の原因となることがある。既設の配線を利用する場合は、その線の種類によっては正常に動作しないことがある。そのときは配線の入れ替えが必要となる。
- 既設の配線が劣化している場合は、機器取り替え後、正常に動作しなくなる恐れがある。そのときは配線の入れ替えが必要となる。

平行ケーブル 同軸ケーブル 奇数ケーブル



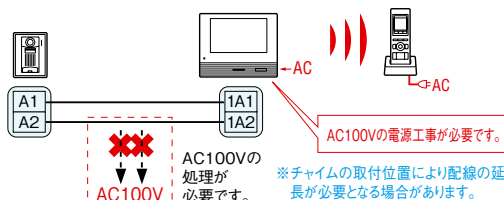
既設機器

■チャイム(AC100V式)の場合

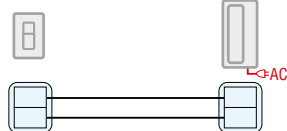


テレビドアホン

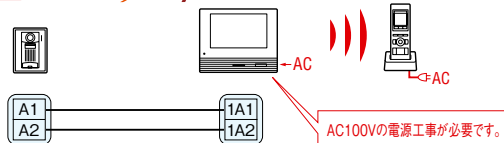
おすすめ ROCOタッチ7



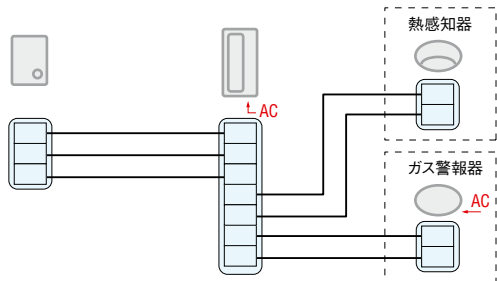
■チャイム・インターホンの場合



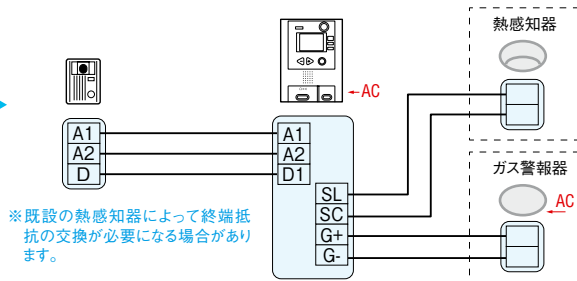
おすすめ ROCOタッチ7



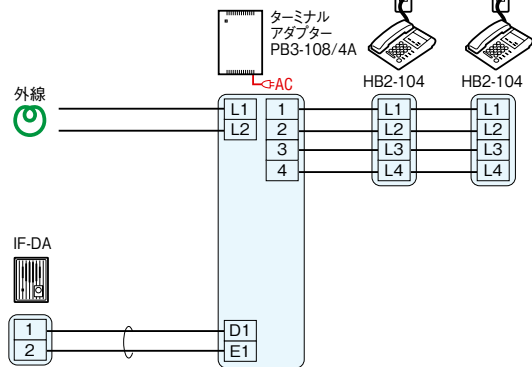
■熱感知器、ガス警報器が連動している場合



おすすめ QH録画2・2

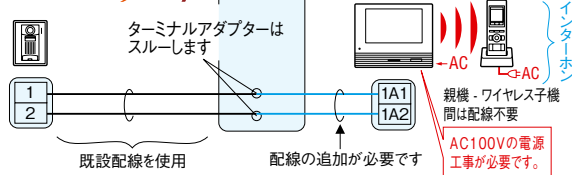


■ホームテレホン(HB2-104)の場合



ホームテレホンのドアホン機能は使用できなくなります。

おすすめ ROCOタッチ7



■オートロック、管理室、非常通報盤などにつながっている集合マンション等



- 戸建住宅用テレビドアホンへの取り替えはできません。システム全体の取り替えが必要です。

→P.204 参照

詳しくは当社担当者までご相談ください。

1 玄関ドアの交換
2 玄関ドアの補修
3 トイレの交換
4 ファイアレス
5 玄関ドアの補修
6 受話器式
7 テレビ
8 ドアホン
9 戸建住宅Renovest
10 センサー
11 電気錠

戸建住宅Renovest